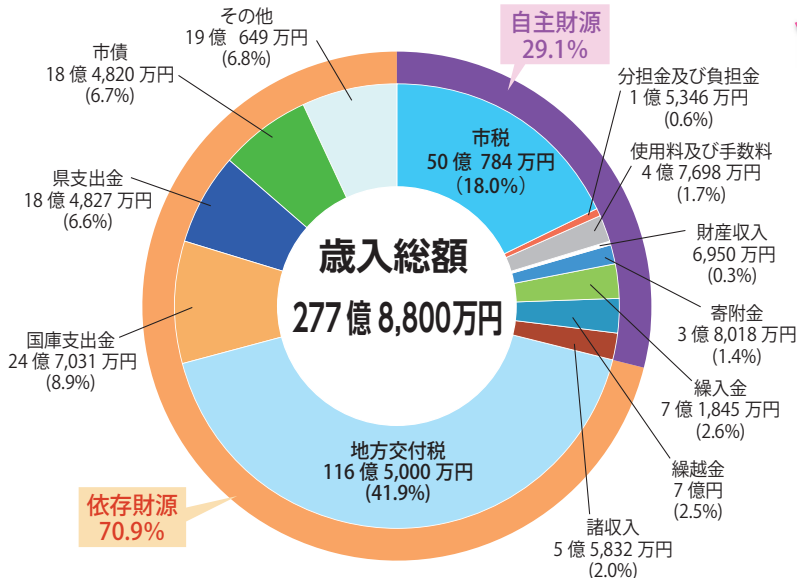


命を守る 郡上をまもる 若者の未来を守る



総額	507億4,986万円
一般会計	277億8,800万円
特別会計	113億4,415万円
企業会計	116億1,771万円

当初予算にかける市長の思い



郡上市長
山川 弘保

「現場主義」のもと様々な会合で市民の皆様と対話を重ねてきました。それらを通じて、令和7年度の予算編成にあたっては、先人たちが知恵を出し苦労しながら進めてきた事業は尊重しつつも、人口減少社会の中、本当に既存の事業を継続することが可能なのか、もっと効果のある事業への転換はできないのかということに思いを巡らせ、予算の抜本的な見直しを実施しました。

見直した事業の中には補助金・交付金の減額や廃止など市民の皆様直接影响到及ぶものもあります。一方で「若い世代」へのシフトを掲げて郡上が自他ともに認める「子育てに優しい町」となれるような政策、また、買い物などでお困りの高齢者に対する政策も用意しました。

このように令和7年度は、「命を守る」、「郡上をまもる」、「若者の未来を守る」を市政運営の基本方針とし、郡上市の持続可能な発展を推進していくために、若者はもちろんのこと、誰もが元気に安心して幸せに暮らすことができる郡上の未来を目指した予算を編成いたしました。

令和7年度の予算のポイント

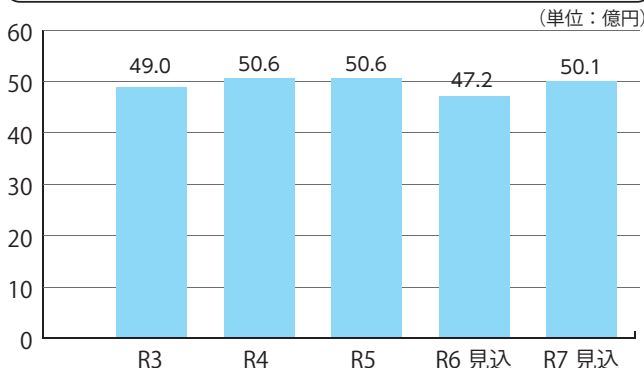
社会情勢の変化等に合わせた事務事業の見直しを実施！

消滅可能性自治体からの脱却を目標に乳幼児から高齢者まで必要な所へ予算を配分！

道路、上・下水道など、社会インフラの適切な維持管理と充実！

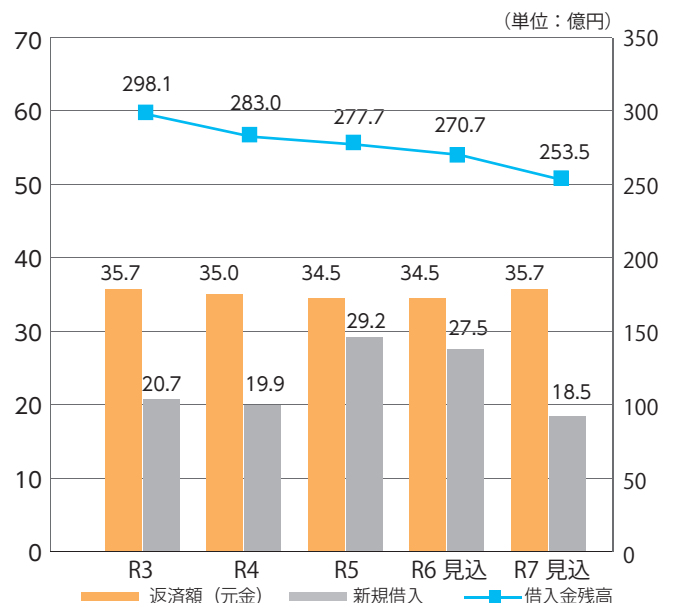
維持管理費の高騰等を受け、水道料、施設利用料などを適正化！

市税収入



市税は、景気の回復傾向による法人市民税や定額減税の終了による個人市民税の増加などにより、前年度比6%増の50億784万円を見込んでいます。新規借入については、大和統合小学校等の大型事業への投資が一巡しつつも、道路などの必要なインフラ更新のために18.5億円を計上しています。その結果、令和7年度の借入金残高見込は253.5億円と着実な減少を計画しています。

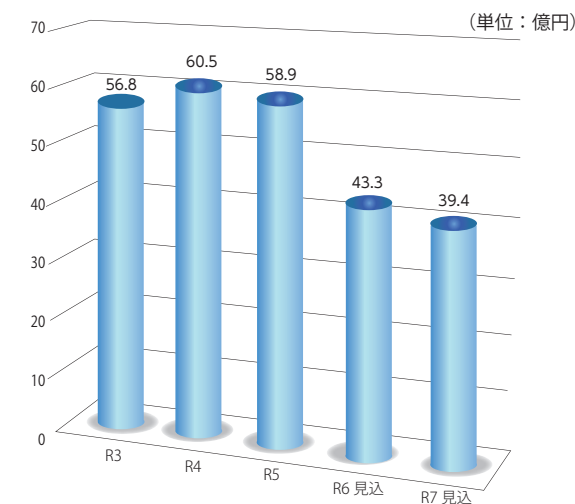
借入金の残高・返済、新規借入（一般会計）



一般会計当初予算の推移



一般会計基金残高の推移



※R6見込は豪雪による特別交付税の収入見込を含む

基金は令和6年度の豪雪対応などで減少幅が大きくなっています。引き続き、安定的な財政基盤の構築に努めていきます。

＜用語の解説＞

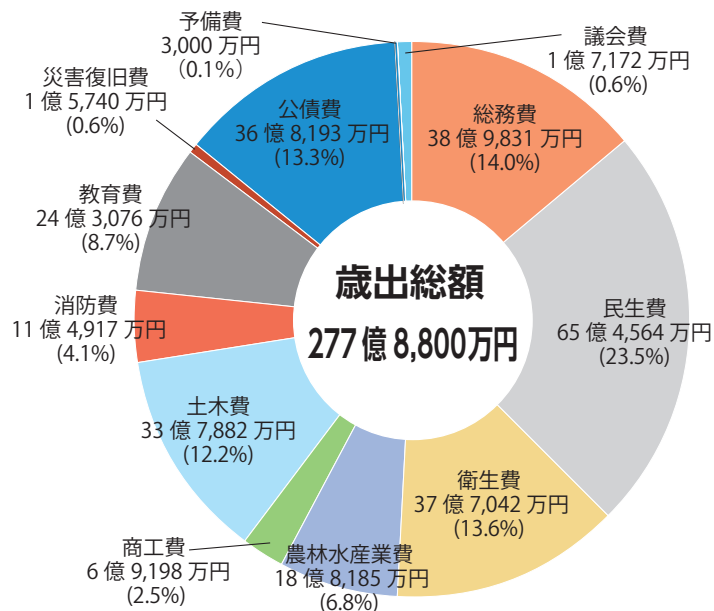
歳入・歳出…地方公共団体の収入のことを歳入、支出を歳出と呼んでいます。

自主財源…地方公共団体が自らの手で徴収、収納できる財源のこと。地方税や使用料、寄附金などがあります。

依存財源…収入にあたって国や都道府県の関与を受ける財源。地方交付税や国庫支出金、県支出金などがあります。

地方交付税…市町村間の財政力の不均衡をなくし、一定の住民サービスができるように市町村の財政力に応じて国から交付されるお金。

基金…地方自治体の貯金。



郡上市の課題

人口減少等、縮小する社会情勢を踏まえた持続可能な事業内容、規模への変革

限られた財源の中で地方自治の本旨である本当に弱い立場にある方々への支援をどう充実させるか

市民生活の根幹を担うインフラ施設の老朽化へいかに対応していくか

デフレ社会からインフレ社会への変容に伴う経費増加にどう対応するか

特別会計・企業会計別の予算額

特別会計

会計名称	令和7年度	令和6年度	伸率(%)
国民健康保険(事業勘定)	45億5,373万円	45億9,538万円	△0.9
国民健康保険(直営診療)	3億6,312万円	3億5,857万円	1.3
介護保険	45億9,342万円	45億7,701万円	0.4
介護サービス事業	8億2,028万円	7億7,695万円	5.6
駐車場事業	395万円	372万円	6.2
青少年育英奨学資金貸付	2,389万円	2,546万円	△6.2
鉄道経営対策事業基金	88万円	35万円	149.9
後期高齢者医療	7億6,763万円	7億5,305万円	1.9
小水力発電事業	8,045万円	5,645万円	42.5
財産区	1億3,680万円	1億3,427万円	1.9
合 計	113億4,415万円	112億8,121万円	0.6

企業会計

会計名称	令和7年度	令和6年度	伸率(%)
水道事業	26億130万円	22億7,119万円	12.7
下水道事業	38億4,096万円	39億655万円	△1.7
病院事業	51億7,545万円	53億9,703万円	△4.3
合 計	116億1,771万円	115億7,477万円	0.4

※金額は万円単位での表示のため、端数処理により合計などが合わない場合があります。

令和7年度予算における新規・拡充事業

「命を守る」「郡上をまもる」「若者の未来を守る」の基本方針を念頭に以下の仕事に取り組みます！

高齢者買い物あんしんサポート

(350万円)

施政の基本方針：3つのまもる

命

郡上

若者の
未来

新規

近所に商店がなく自ら買い物に出かけることが困難な高齢者等の生活利便性の向上を図ることを目的として、日常生活に必要な生鮮食料品や日用雑貨品等の移動販売及び高齢者等の見守り活動を行う事業者を支援します。



▲既存事業者による移動販売の様子

医療者確保対策

(150万円)

命

郡上

若者の
未来

拡充

市内勤務を希望する医師、看護師等を対象とした既存の修学資金貸付制度を拡充し、郡上市出身者で下呂看護専門学校等へ進学する学生に月額貸付（併用可）を行い、保護者の負担はほぼ無しで将来の医療人材確保を図ります。

郡上偕楽園移転整備

(4,645万円)

命

郡上

若者の
未来

新規

長年の課題となっている現施設の水害リスクを回避し、利用者の生命を守ることを目的とし、建設後40年以上（新館30年以上）経過し老朽化した施設を、旧大和第一北小学校校舎の一部活用も含めて新築移転整備するための実施設計等を行います。

若者プロジェクト推進

(500万円)

命

郡上

若者の
未来

新規

消滅可能性自治体からの脱却に向け、今後の郡上市を担う若者で結成した団体の活動を側面支援するほか、市外に居住するUターン候補者等にSNSを活用した情報発信を行います。



▲将来の郡上について話し合うメンバー

メガマルシェ開催支援

(600万円)

命

郡上

若者の
未来

新規

中部縦貫自動車道の結節を見据え、「人、モノ、情報」などの交流による地域産業の活性化を目的に、これまで培ってきた経験やノウハウ、築いてきた多方面とのつながりを深化させつつ、次の世代による新たな商工振興イベントの開催を支援します。



郡上グリーンプロジェクト【森林環境譲与税事業】

(3億1,435万円)

命

郡上

若者の
未来

拡充

経営管理制度を活用した森林整備による災害抑制、作業道整備、人材育成等について、継続的な取組みを推進します。令和7年度は、主伐・再造林事業を拡充し、人工林伐採後の植林、下刈り、雪起こし、獣害対策など再造林を重点的に支援するほか、Jクレジット制度の活用促進、出材量の増加につながる新たな取組みを開始します。

ふるさと寄附制度の推進体制強化

(1億8,357万円)

命

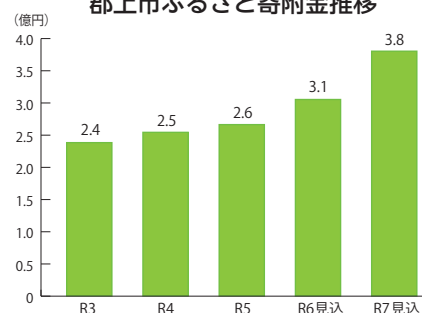
郡上

若者の
未来

拡充

ふるさと寄附制度の積極的な活用による地場産品等PR、新規の郡上ファン獲得、関係人口の創出および自主財源の獲得による安定した行財政運営を目的とし、新たに中間支援事業者への業務委託を導入し、寄附額の増加を図ります。

郡上市ふるさと寄附金推移



中学校給食費無償化

(5,607万円)

命

郡上

若者の
未来

新規

市内中学校に在籍する生徒（対象：約1,000人）の学校給食費無償化を実施します。保護者負担金を徴収しないことで子育て支援策を強化します。



▲学校で給食を食べる
市内の中学生

新世代住まい応援

(2,400万円)

命

郡上

若者の
未来

新規

これからの郡上を担う若者の移住定住を促進するため、郡上市産材を活用した木造住宅建築費用の一部を拡大補助（上限70万円→100万円）します。併せて、林業の振興、地域経済の活性化を図ります。

おむつのサブスク推進

(801万円)

命

郡上

若者の
未来

拡充

令和6年度補正予算により10月から本格運用を開始した「おむつのサブスク」は、保護者に好評であることから、令和7年度からは認可外保育所も対象として拡充支援します。

ぎふ木遊館サテライト施設の整備

(994万円)

命

郡上

若者の
未来

新規

森林という地域資源を生かした木育による子育て支援と、子育て世代の集いの場の提供を目的に、旧大和第一北小学校の体育館施設を活用し「ぎふ木遊館サテライト施設」を整備するための実施設計等を行います。



▲旧小学校体育館の活用イメージ（ぎふ木遊館提供写真）

小学校統合整備（美並）

(4,559万円)

命

郡上

若者の
未来

新規

学校規模適正化計画に基づき、時代の変化に合わせた学校施設の統廃合を進めるため、美並町内の小学校2校（三城小学校、吉田小学校）を統合し郡南中学校敷地内へ移転整備するための実施設計等を行います。

高校生通学・下宿支援

(3,706万円)

命

郡上

若者の
未来

拡充

これまで市内の県立高等学校2校（郡上、郡上北）の維持存続と保護者の負担軽減を目的として、通学定期券代または寮・下宿代の一部を補助してきましたが、令和7年度からは市外の高等学校へ通学する生徒の保護者も補助対象者とするよう制度拡充し、幅広く子育て世帯の負担軽減を図ります。

シン・郡上学推進

(3,031万円)

命

郡上

若者の
未来

新規

郡上学事業がスタートして15年が経過し、令和7年度からは「シン・郡上学」としてアップデートを実施します。主に、生涯学習講座や文化講座などで「郡上学講座」を開催してきましたが、今後は目標を明確にして、より一層市民が親しみ、地域の伝統文化を継承しつつ、次代の担い手育成と住民の生きがいづくりにつなげることを目的とします。

社会教育課（社教）では、高校生対象の「サテライト大学」を新設し、小中学生向けには「こども講座」「総合文化教室」の充実を図ります。学校教育課（学教）では体験活動の一層の充実を図り、地域貢献活動を通じた「社会に開かれた教育課程」の実現を目指します。



▲(社教)郡上かるた大会の様子



▲(社教)「郡上本染」藍染め体験



▲(社教)ユネスコ無形文化遺産見学



▲(学教)ラフティング体験